

星の間の昼間 巡りガイド

荒木由香里

ここに注目!

- 1 自転車は使わず、歩いて巡ろう 

「昼間の星」の作品の多くは、
自転車走行禁止エリアに設置されています。
この展覧会は「徒歩」で巡ってください。

- 2 詳細地図・看板・スタンプなし

全9作品（一部を除き常設展示になります）
には、目印になる看板やスタンプはありません。
歩いて、探して、考えて、見つけてください。

- 3 のんびり巡ろう 

「昼間の星」のいくつかは、とても小さい作品です。
目印がないので、見逃してしまうかもしれません。
コンプリートよりも、のんびり星巡りのお散歩を楽しんで!

- 4 佐久島体験マップ
を持って行こう 

島歩きに便利なトイレや駐輪場など
大切な情報が掲載されています。お忘れなく。

荒木由香里 [あらかき ゆかり]

1983年 三重県生まれ。2005年名古屋芸術大学美術学部造形科造形選択コース卒業。2006年同研究生修了。アインソフディスパッチ（名古屋）で2007年から作品を発表。2012年には愛知県美術館で学芸員と作家との協働による展覧会 APMoA Project ARCH「何ものでも何でもないもの」を開催。佐久島では2008年「海ヨリキタリテ」（弁天サロンギャラリー）、2011年「星を想う椅子」（あいちアートプログラム／新谷海岸、弁天サロン）の個展を開催。2017年に高千谷海岸に「星を想う場所」が制作され常設展示されている。

主催：西尾市 共催：佐久島・島を美しくつくる会
企画・制作：オフィス・マッチング・モウル
撮影／尾崎芳弘 [DARUMA] デザイン／白澤真生・白澤鮎美 [drowrope]



夜空に星を探すように、
地図にない作品を探す

荒木由香里 | 昼間の星 2019

星を想う場所
(2017年設置)

宇宙に存在するさまざまな物質が
引かれあって集まり、星となるように、
本展の作品は、荒木由香里が集めた
さまざまな色と形、そして素材が近づき、
絡まり合い、強く結びついてきらめいています。
それらはすべて、星のかけら、
雑多な景色の中でも静かに輝く
小さな星の断片です。

昼間に星は見えなくても、
確かにそこにあるその星々を、探しに行こう。

注意事項

拡大地図 (1,3,5~9) のエリアの
集落内、未舗装の急坂のある山道は
安全のため、自転車走行は禁止です。
本展はぜひ徒歩で回るよう、ご協力をお願いします。

1~7, 9 番の作品は、
展覧会終了後 (2019.11月以降) は常設展示となります。
「8 銀河のリズム」のみ、不定期展示となります。



丸で囲まれたエリアに
番号の作品が設置されています。
探してみましょう。 ヒントつき!

- 1. 星屑のテーブルクロス
富士山 (ふじやま) 登山
- 2. タイノウラ星団 海を渡る道
- 3. いっこく屋 空色の額縁の中に
- 4. 金の斧 木の穴をのぞく
- 5. ガス灯の一等星 青い倉庫
- 6. くるくる衛星 軒先を見よ
- 7. 元気ハツラツ招き猫
招き猫のいる場所
- 8. 銀河のリズム 縁側でひと休み
- 9. かぐやのお皿 祈りの場所へ

